

豚熱患畜の確定を受けて
～三重県民の皆様への呼びかけ～

令和2年12月29日
三重県知事 鈴木英敬

昨日（12月28日）から実施してきた遺伝子検査の結果、伊賀市の養豚農場において、豚熱が発生しました。これを受けて、年末年始にさしかかり大雪も懸念される厳しい時期ではありますが、職員に対し、全庁を挙げて迅速かつ的確に防疫措置を講ずるよう指示したところです。

対応にあたっては、過去の事例の経験・教訓を踏まえ、既に自衛隊や伊賀市をはじめ、JAや建設業協会など民間事業者の協力も得ながら、関係機関と連携を取りつつ万全の体制構築に向けて準備を進めているところであり、県職員や自衛隊、民間業者含め延べ約3千人の体制で、1月4日の殺処分終了、9日の防疫措置終了に向けて、迅速に対応してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される状況にありますので、作業に従事する職員や関係機関の皆様に対しては、感染症対策を徹底しながら防疫措置にあたるよう具体的な手法を示し対応しています。

県民の皆様、とりわけ発生農場付近の皆様には、防疫措置の実施に伴い、通行規制等ご迷惑やご不便をお掛けしますが、これ以上の感染拡大を防止するための措置であることをご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。また、防疫措置や感染拡大防止対策に支障がありますので、発生農場には、絶対に近づかないようお願いいたします。

改めてのお願いになりますが、豚やいのししを飼育しているすべての皆様におかれましては、感染拡大防止の観点から、飼養衛生管理基準の遵守徹底に一層努めていただきますようお願いいたします。

もし、飼養している豚等に異常が認められた場合、家畜保健衛生所は、24時間連絡を取れる体制を取っていますので、直ちに最寄りの家畜保健衛生所へ通報いただきますようお願いいたします。

なお、豚熱は豚といのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染した豚の肉が市場に出回ることはありませんが、仮に感染した豚の肉を摂取しても人体に影響はありません。

県民の皆様におかれましては、国や県が提供する正しい情報に基づき、冷静に対応していただきますよう、重ねてお願いいたします。